



新着図書リスト

今、話題の本を入荷しました！

ゆうまつど

2階ライブラリー

2024年4月作成

女性論とその周辺(性差別・その他人権含む)

書名	出版社	著者名	出版年
娘と話すからだ・こころ・性のこと	朝日新聞出版	高尾美穂	2023
なぜ男女の賃金に格差があるのか 女性の生き方の経済学	慶應義塾大学出版会	クラウドディア・ゴールドイン 著 鹿田 昌美 訳	2022
思い込みにとらわれない生き方	ポプラ社	坂東真理子	2023
世界はなぜ地獄になるのか	小学館新書	橘玲	2023
なぜ理系に女性が少ないのか	幻冬舎新書	横山広美	2022
離れたくても離れられないあの人からの「攻撃」がなくなる本	SBクリエイティブ	Joe	2019
ある日、戦争がはじまった12歳のウクライナ人少女イエバの日記	小学館	イエバ・スカリエツカ 著 神原里枝 訳	2023
女性差別はどう作られてきたか	集英社新書	中村敏子	2021
政治って、面白い！ 女性政治家24人が語る仕事のリアル	花伝社	三浦まり	2023
赤ずきんとオオカミのトラウマ・ケア 自分を愛する力を取り戻す[心理教育]の本	特定非営利活動法人ASK	白川美也子	2016
50歳からの性教育	河出新書	村瀬幸浩/高橋怜奈/宋美玄/太田 啓子/松岡宗嗣/齊藤章佳/田嶋陽 子	2023
松戸市の80年	いき出版		2023

生き方(子育て・家庭・介護含む)

書名	出版社	著者名	出版年
60代から終の住処を考えるための住まいのエンディングノート	主婦と生活社	日下部理絵	2023
ひとり暮らしでも大丈夫！ 自分で自分の介護をする本	河出書房新社	小山朝子	2023
子育てのイライラ・怒りにもう振り回されない本	すばる舎	篠真希	2017
自閉症の僕が跳びはねる理由	角川文庫	東田直樹	2016
自閉症の僕が跳びはねる理由2	角川文庫	東田直樹	2016
アンガーマネジメント入門	朝日新聞出版	安藤俊介	2016
やってもやっても終わらない 名もなき家事に名前をつけたらその多さに驚いた。	サンマーク出版	梅田悟司	2019
おそろおそろ育休	ミシマ社	西靖	2023
縛られる日本人	中央公論新社	メアリー・C・プリントン 著 池村千秋 訳	2022
「ふつう」の子育てがしんどい 「子育て」を「孤育て」にしない社会へ	晃洋書房	石田光規	2023

働くこと(女性の活躍・社会参画含む)

書名	出版社	著者名	出版年
私とピコリーノ 働く女性に贈る30の言葉	幻冬舎	山根以久子	2023
仕事も家庭もうまくいく！ 共働きのすごい対話術	クロスメディア・パブリッシング	あつたゆか	2022
3000以上の家計を診断した人気FPが教える お金・仕事・家事の不安がなくなる 共働き夫婦 最強の教科書	東洋経済新報社	内藤真弓	2021
アラフォー女性のための次こそ成功させる転職マニュアル 30代・40代からでも正社員になれる！	つた書房	山本ののび	2022
ワーママが無理ゲーすぎてメンタルがやばいのでカウンセラーの先生に聞いてみた。	時事通信出版局	下園壮太 著 ひえじまゆりこ イラスト	2023
「辞める人・ぶら下がる人・潰れる人」さて、どうする？	クロスメディア・パブリッシング	上村紀夫	2020

貸出はおひとり3冊・3週間まで

児童書・絵本は裏面へ➡

児童書(子ども・青少年)

書名	出版社	著者名	出版年	対象年齢
かいけつゾロリの まいにちなぞなぞ1年分	ポプラ社	原ゆたか	2020	小学生低学年
もりのかくれんぼう	偕成社	末吉暁子(作)、林明子(絵)	1978	4歳頃～
おふるのいえで	マイクロマガジン社	新井洋行	2023	2歳～
きみのお金は誰のため：ボスが教えてくれた「お金の謎」と「社会のしくみ」	東洋経済新報社	田内学	2023	中学生頃～
やあだ!	BL出版	マルリョケ・ヘンリヒス 作、木坂涼 訳	2017	2、3歳頃
どすこいみいちゃんパンやさん	ほるぶ出版	町田尚子	2023	4、5歳～
みえるとか みえないとか	アリス館	ヨシタケジンスケ	2020	4歳頃～
きょうはおやすみします がっこうのてんこちゃん	福音館書店	ほそかわてんてん	2023	5、6歳～
きょうりゅうたちのおーつとあがない	小峰書店	ジェイン・ヨーレン(文)/マーク・ティーグ(絵)/なかがわちひろ(訳)	2022	5歳～
ゆびのすうじ ヘーンしん	アリス館	齋藤陽道(作)/あわい(絵)	2022	3歳～
図書館版 遊びで防災体験② サバイバルグッズ&クッキング	いかだ社	神谷明宏	2022	小学生中学年～

貸出はおひとり3冊・3週間まで



『女性差別はどう作られてきたか』

中村 敏子 / 集英社新書

昔に比べて、日常に女性差別を感じる場面は少なくなりました。それは日本が「女性差別が少ない国になった」わけではありません。今も、日本はジェンダーギャップ指数で世界の下位に位置しており、医科大学での女性受験生の一律減点問題など、「女性である」ことによる差別はなくなっていません。こうした女性差別が生まれた過程を、政治的思想史の観点から分析、「家父長制」という概念により読み解いた1冊です。



『3000以上の家計を診断した人気FPが教える お金・仕事・家事の不安がなくなる 共働き夫婦最強の教科書』

内藤 眞弓 / 東洋経済新報社

共働き夫婦のよくあるお悩みを解決してくれる指南書です。著者はFPとして25年間で3000件以上の家計の相談を受け、その経験を活かして、お金だけに限らない、仕事や家事のお悩みを解消する方法を教えてください。現在共働き中のご家庭に役立つ「子育てサポート」情報はもちろん、昔は多かった、「子どもが小学校になったら母親がパートする」が今の時代に通用しない理由や、離婚や死別のリスクヘッジなど、これから働くことを考えている方にも必読な1冊です。



『おそろおそろ育休』

西 靖 / ミシマ社

昭和生まれ、仕事一筋だった関西の人気アナウンサーが、50歳目前に『育休』をとってみたい経験をつづったエッセイ本です。「男性育休」に対する主義主張、ポリシーがあったわけでもなく、「三人目はさすがに大変だろうから、休んだほうがよさそうだ」の気持ちで決めた育休取得。決めた後に感じた、不安や戸惑いも正直に吐露されています。「おそろ、おそろ」取得した育休ではイライラ、わくわく、七転八起、多くの気づきがあり、「たいへんやけどおもしろく、自分自身が成長できる機会」だった。そんな著者の子育てライフが紹介されています。



『きみのお金は誰のため：ボスが教えてくれた「お金の謎」と「社会のしくみ」』

田内 学 / 東洋経済新報社

大人も子どもも知っておきたいお金や社会のしくみを知ることのできる経済教養小説です。人生も社会も豊かにするためのお金の使い方、お金の本質がわかります。中学2年生男子と投資銀行員が二人で大富豪の家を訪れ、二人が大富豪から、お金の正体と社会のしくみの講義を受けることになるというところから、物語が進んでいきます。対話形式の小説なので、本が苦手でも読みやすく、お金とより良く付き合っていく方法が知りたい方におすすめです。

